

陽明学総目次 (創刊号) 第十九号

■創刊号 山田方谷特集号

●発行日 1989年3月31日

●目次

○二十一世紀と陽明学

岡田 武彦

○王陽明の哲学思想

洪 樵榕

○王陽明研究の原型

山下 龍二

○伝習録の徐横山所録に見える「至善」について

市川 安司

山田方谷特集

○座談会 —方谷を語る—

出席者 山田 琢・洪 樵榕・中田 勝
(司会者) 小林 日出夫

○山田方谷の略伝

中田 勝

○方谷の理財論とその周辺

山田 琢

○山田方谷の漢詩文について

芳原 一男

○郷土の先師・方谷と中洲

松田 存

○高梁方谷会記録—会所蔵物／方谷系図／山田琢所蔵物

○方谷参考文献目録

○陽明学研究所所蔵目録 (1)

○陽明学便り

○編集後記

■第二号 中江藤樹特集号

●発行日 1990年3月31日

●目次

○王陽明と禅

大西 晴隆

○王陽明の実学と徐愛の従学

中田 勝

○王陽明思想「知行合一」論

中根 公雄

中江藤樹特集

○翁問答における陽明学の受容とその意義

木村 光徳

○藤樹学の成立と孝意識に就いて

倉田 信靖

○藤樹学の基調

荻生 茂博

○中江藤樹略伝

正田 啓佑

○中江藤樹に関する参考資料紹介

松下 亀太郎

—藤樹書院所蔵品から—

藤田 覚

○藤樹研究会の活動に関して

橋本 栄治

○中国に於ける陽明学研究の動向と陽明学国際研討会

正田 啓佑

○陽明学関係書 紹介と短評

○陽明学研究所所蔵目録 (2)

○陽明学便り

○編集後記

■第三号 佐藤一斎特集号

●発行日 1991年3月31日

●目次

- 『論語』蓋有不知章の心学的解釈について
- 李贄と陽明学
- 陽明思想における体用論

松川 健二
 疋田 啓佑
 石川 泰成

佐藤一斎特集

- 『言志四録』における思想的戦略の変容
- 一斎学の系譜
- 『愛日楼文詩』の考察
- 佐藤一斎略伝
- 佐藤一斎に関する参考資料紹介
- 佐藤一斎に関する参考資料
- 一斎研究参考文献目録
- 佐藤一斎の著作解題
- 陽明学関係書 紹介と短評
- 陽明学研究所所蔵目録(3)
- 陽明学便り
- 編集後記

山縣 明人
 田中 佩刀
 中村 安宏
 疋田 啓佑
 樹神 弘
 種元 勝弘
 橋本 栄治
 同

●目次

- 趙大洲の思想
- 王陽明の晩年思想
- 呉康斎と『伊洛淵源録』

荒木 見悟
 洪 樵榕
 望月 高明

三島中洲特集

- 三島中洲先生の陽明学について
- 三島中洲の食貨論
- 三島中洲の詩文
- 三島中洲先生年譜
- 三島中洲の学譜
- 三島中洲著書・参考資料
- 陽明学関係書 紹介と短評
- 陽明学研究所所蔵目録(4)
- 陽明学便り
- 編集後記

中田 勝

尼子 昭彦
 川久保 広衛

横須賀 司久
 中田 勝

橋本 栄治

■第五号 錢徳洪特集号

●発行日 1993年3月31日

●目次

- 王陽明の心学とその積極的な影響について

沈 善洪・王 鳳賢

- 王陽明の書について

寺山 葛常

■第四号 三島中洲特集号

●発行日 1992年3月31日

○王陽明の童場での生活

渡部 英喜

○周敦頤の修養考―誠とその周辺―

上野 努

錢徳洪特集

○錢徳洪の良知実践論を論ず

董 平

○王陽明の後学 錢徳洪について

葉 樹望

○錢徳洪の哲学思想

陳 哲燦

○錢緒山にみる陽明思想の受容

中根 公雄

○錢徳洪略伝

吉田 公平

○陽明学関係資料

○中国における李贄研究について

疋田 啓佑

○李贄研究国際学術討論会報告

○陽明学関係書紹介

○国際陽明学研究センター紹介

○陽明学研究所所蔵目録(5)

○陽明学便り

○編集後記

○熊沢蕃山の儒教

―「日本の武士」の儒教受容の一例として―

佐久間 正

○熊沢蕃山の経済論

神立 春樹

○日本漢学の展開―熊沢蕃山と山田方谷―

山田 琢

○無窮会図書館所蔵堤朝風写「葬祭辨論」を通して見た

蕃山研究の問題点

村田 栄三郎

○熊沢蕃山・略年譜

川久保 廣衛

○熊沢蕃山著作版本紹介

高山 節也

○東洋倫理―人生と経済の道標―「序説」

中田 勝

○陽明学関係書 紹介と短評

○陽明学研究所所蔵目録(6)

○陽明学便り

○編集後記

■第六号 熊沢蕃山特集号

●発行日 1994年3月31日

●目次

○羅念庵の「冬遊記」について

―王門における講学活動の一場面―

福田 殖

○王陽明年譜訂誤

諸 煥燦

■第七号 吉田松陰特集号

●発行日 1995年3月31日

●目次

○陽明学の宗教性

○呂坤と陽明学

山下 龍二

○周海門の社会思想

渡邊 賢

吉田松陰特集

- 吉田松陰の学問論―『講孟余話』序説―
- 松陰の教育思想
- 吉田松陰と三島中洲
- 吉田松陰における「忠孝」概念について
- 吉田松陰先生の漢詩について
- 吉田松陰・略年譜
- 陽明学関係書 紹介と短評
- 陽明学研究所蔵目録(7)
- 陽明学便り
- 編集後記

川久保 廣衛

溝口 貞彦

松田 存

川口 雅昭

齋藤 忠壽

伊藤 敦夫

○濟斎の書について

- 『陽明学精義』を読む
- 濟斎晩年の大業・『方谷全集』
- 山田濟斎と陽明学会の人人
- 濟斎先生の思い出
- 山田濟斎先生交友録
- 山田濟斎・略年譜
- 山田濟斎著述目録
- 陽明学関係図書 紹介と短評
- 陽明学研究所蔵目録(8)
- 陽明学便り
- 編集後記

寺山 葛常

川久保廣衛

山田 敦

濱 久雄

洪 樵榕

松田 存

山田 敦

小林 憲二

■第八号 山田濟斎特集号

●発行日 1996年3月31日

●目次

- 王竜溪と聶雙江
- 補遺詩に見る王陽明の実像
- 三島中洲の陽明学 自得時期について
- 山田濟斎特集
- 濟斎先生と二松学舎
- 中洲・濟斎・惇齋の学脈
- 詩文にみる山田濟斎の風格

福田 殖

濱 久雄

菊地 誠一

石川梅次郎

中田 勝

松川 健二

■第九号 西郷南洲特集号

●発行日 1997年3月31日

●目次

- 王陽明の詩について
- 井上哲次郎の「東洋哲学史」研究と『日本陽明学派之哲学』
- 良知良能説の展開(一)
- 西郷南洲特集
- 同時代人士の西郷南洲観

上野 日出刀

大島 晃

中根 公雄

山口 宗之

○再論中国近代史に於ける西郷隆盛像
○詩人西郷南洲

中村 義

○南洲の書の深化と陽明学

鶴田 正義

○『孟子』尽心篇首章と西郷南洲

寺山 葛常

○王陽明の軍旅に関する刻石考訂

松川 健二

葉 樹望
(渡邊 賢訳)

○瑞雲楼重建落成記念式典

王陽明先生聖像開光典禮祭関連資料

岡田 武彦

○陽明学関係書 紹介と短評

蔣 慶

○陽明学便り

○編集後記

○陽明学関係書 紹介と短評

○陽明学便り

○編集後記

○王畿の『易』解釈について
○龍溪心齋同異論

佐藤 鍊太郎

錢 明

○王畿と聶豹の本体・良知の論争に関して

二松学舎大学陽明学輪読会訳

方 祖猷
(足田啓佑訳)

○『龍溪王先生全集』所見 陽明先生言行録輯釈

永富 青地
陳 来

■第十号 王龍溪特集号

●発行日 1998年3月31日

●目次

○陸象山はなぜ主役になれなかったか

吉田 公平

○明代における朝聞夕死解

松川 健二

○中国近世における博文約礼解と知行論(一)

中根 公雄

王龍溪特集

○戦後日本における王畿とその思想に関する

研究の回顧と展望

馬淵 昌也

■第十一号 池田草庵特集号

●発行日 1999年3月31日

●目次

○王陽明の知行合一説

上田 弘毅

○明儒のいわゆる異端について

松川 健二

○中国近世における博文約礼解と知行論(二)

中根 公雄

池田草庵特集

○池田草庵―康斎の流亜―(上)

望月 高明

○千古の心友―池田草庵と林良斎―

塩田 道雄

○池田草庵側面観

小谷 恵造

○池田草庵の書について

細川 翠楠

○青谿書院の活動

池田 糸雄

○九大本『陽明先生文録』詳考

水野 実

永富 青地

○陽明学関係書 紹介と短評

○陽明学便り

○編集後記

○編集後記

○シンポジウム二松学舎創立者三島中洲

○陽明学便り

○陽明学関係書 紹介と短評

(林 縉圭訳)

■第十二号 李卓吾特集号

●発行日 2000年3月31日

●目次

○良知靈字攷—王龍溪を中心にして—

柴田 篤

○池田草庵—康斎の流亜—(下)

望月 高明

○周汝登における心学的思想史の構想

渡邊 賢

李卓吾特集

○李卓吾研究の歴史(上)

佐藤 鍊太郎

○李卓吾思想の『紅樓夢』への影響について

斎藤 喜代子

○李贄と王陽明

張 建業

(疋田啓佑訳)

○李卓吾の官僚時代における思想形成

川津 麻衣子

○王陽明の散佚語録と詩文とに関する幾つかの問題

銭 明

(渡邊 賢訳)

○韓国陽明学関連論著目録

韓国陽明学会編

■第十三号 東沢瀉特集号

●発行日 2001年3月31日

●目次

○『天泉証道紀』の史料価値

陳 来

(永富青地訳)

○李卓吾研究の歴史(下)

佐藤 鍊太郎

○『中庸』の不睹不聞の解釈

中根 公雄

東沢瀉特集

○幕末維新期の儒者・東沢瀉の思想の一考察

荒木 龍太郎

○東沢瀉の思想詩

松川 健二

○明治期の東沢瀉と今北洪川

野口 善敬

○井上哲次郎における東沢瀉

大島 晃

○中洲研究会関係

○中洲の「義利合一論」について

溝口 貞彦

○三島中洲と教育勅語

松川 健二

○三島中洲の中国詩碑とその周辺事情

菊地 誠一

○陽明学関係書 紹介と短評

○陽明学便り

○編集後記

■第十四号 劉念台特集号

●発行日 2002年3月31日

●目次

○「致良知」説の構造と意味

水野 実

○明治前期の思想と三島中洲

三島 正明

○『孟子』非才之罪也章について

石原 伸一

劉念台特集

○原文(テキスト)と意味

—劉宗周の『聖学宗要』にみる宋明儒学者の解釈—

東 方朔

(足田啓佑訳)

○劉宋周の慎独改過説

難波 征男

○劉宋周の陽明学観について—書牘を中心として—

中 純夫

○顧憲成『小心齋箴記』卷一訳注(一)

二松学舎大学陽明学研究所輪読会

○陽明学関係書 紹介と短評

○陽明学便り

○編集後記

■第十五号 林良齋特集号

●発行日 2003年3月31日

●目次

○周汝登『聖学宗伝』と黄宗羲『明儒学案』

佐藤 鍊太郎

○王陽明史跡論考

銭 明

○『孟子』学問求放心章について

石原 伸一

(渡邊 賢訳)

林良齋特集

○林良齋をめぐる文雅の交流

石川 一

○林良齋と近藤篤山との論争を読む

小路口 聡

○林良齋と池田草庵

吉田 公平

○顧憲成『小心齋箴記』卷一訳注(二)

二松学舎大学陽明学研究所輪読会編

○陽明学について—陽明学を学ぶ人のために—

疋田 啓佑

○中洲先生に心酔した大久保兄弟

松尾 政司

○義と利—中洲義利合一論の性格解明のために—

松川 健二

○陽明学関係書 紹介と短評

○陽明学便り

○学会報告

○編集後記

■第十六号 王心齋特集号

●発行日 2004年3月31日

●目次

○現代嘉靖年間の講学活動

佐野 公治

○三島中洲の理気論

松川 健二

○『孟子』何必曰利章について

石原 伸一

王心齋特集

○「泰州学案」の諸問題

呉 震

○王良の“良知”の新説とその価値

(正田啓佑訳)
龔 傑

○王心齋年譜

(正田啓佑訳)
正田啓佑編訳

○王心齋の淮南格物説について

鍋島 亜朱華

○若き三島中洲の学問の到達点と晩年の死生観

濱 久雄

○顧憲成『小心齋箴記』卷一 訳注(三)

二松学舎大学陽明学研究所輪読会編

○陽明学関係書 紹介と短評

○陽明学便り

○学会報告

○編集後記

■第十七号 那智惇齋特集号

●発行日 2005年3月31日

●目次

○二松学舎の陽明学

吉田 公平

—山田方谷・三島毅・三島復・山田準—

○良知心学の血脈—陸九淵・王陽明・王龍溪— 小路口 聡

○魏源の老子論及び老子思想と儒釈思想の異同 張 明輝

○進鴻溪の思想と詩風

菊地 誠一

—『鴻溪遺稿』の詩文を中心として—

那智惇齋特集

○那智惇齋の学問と思想

濱 久雄

○那智佐典先生に就いて

横須賀 司久

○二松学舎困窮期の那智佐典先生

小林 日出夫

○「二松研究年報」第一輯について

佐佐木 鍾三郎

○顧憲成『小心齋箴記』卷一 訳注(四)

二松学舎大学宋明資料輪読会

○陽明学関係書 紹介と短評

○陽明学便り

○学会報告

○編集後記

第十八号 春日潜庵特集号

●発行日 2006年3月31日

●目次

○「格物」という陥穽

木下 鉄矢

○王龍溪の「根本知」をめぐる考察

小路口 聡

—あるいは、「生」の哲学としての良知心学—

○王陽明遺像綜考

銭 明

(渡邊 賢訳)

春日潜庵特集

○春日潜庵と歴史観

疋田 啓佑

○春日潜庵の誠意説前史

吉田 公平

○春日潜庵による『載山人譜』『王心齋全集』の出版をめぐる

福田 殖

○顧憲成『小心齋箴記』巻一 訳注(五)

二松学舎大学宋明資料輪読会

○陽明学関係書 紹介と短評

○陽明学便り

○学会報告

○編集後記

第十九号 朝鮮・韓国陽明学特集号

●発行日 2007年3月31日

●目次

朝鮮・韓国陽明学特集

○朝鮮・韓国陽明学特集に当たって

小川 晴久

○朝鮮後期の朱子学と陽明学の論争

金 教斌

○江華学派の仮学批判と知的模索

沈 慶昊

○韓国における陽明学研究について

韓 睿嫻

○朝鮮の陽明学派

鄭 寅普

(沈 慶昊・小川 晴久共訳)

○為堂鄭寅普先生の行状に現れるいくつかの問題

関 泳珪

—実学原始—

(小川 晴久訳)

○韓国における象山学と陽明学関連研究目録

金 世貞

○顧憲成『小心齋箴記』巻一 訳注(六)

二松学舎大学宋明資料輪読会

○陽明学関係書 紹介と短評

○陽明学便り

○学会報告

○編集後記